港の見える丘公園散策とシーバスに乗って「海鮮ビストロピア21」でランチを楽しむ

アメリカ山公園

みなとみらい線「元町・中華街駅」の駅舎上部と隣接する丘陵地を一体化し整備した国内初の立体都市公園。駅に直結している公園なんてちょっと不思議な感じがしますが、改札を出てすぐのエレベーターかエスカレーターで屋上に上がれば、そこがもう芝生広がる展望園地という至便のアクセス! そのまま山手エリアに出られるので、西洋館めぐりのスタート地点として最適です。明治初頭に米国公使館予定地となっていたことや戦後にアメリカ軍に接収された歴史などがあり、土地柄アメリカにゆかりがある高台ということから命名されました。

横浜市イギリス館（入館しません）

昭和 12 年、上海の大英工部総署の設計により英国総領事公邸として建設。港の見える丘公園内にある。鉄筋コンクリート 2 階建で、広い敷地と建物は東アジアにある領事公邸の中でも上位に格付けられていた。玄関脇にはめ込まれた王冠入りの銘版（ジョージ VI 世の時代）や、正面脇の銅板が旧英国総領事公邸であった由緒を示す。昭和 44 年に横浜市が取得し、1 階ホールはコンサートなどに、2 階集会室は会議などに利用されている。平成 14 年からは 2 階の展示室と復元された寝室を一般公開しています。

大佛次郎記念館（入館しません）

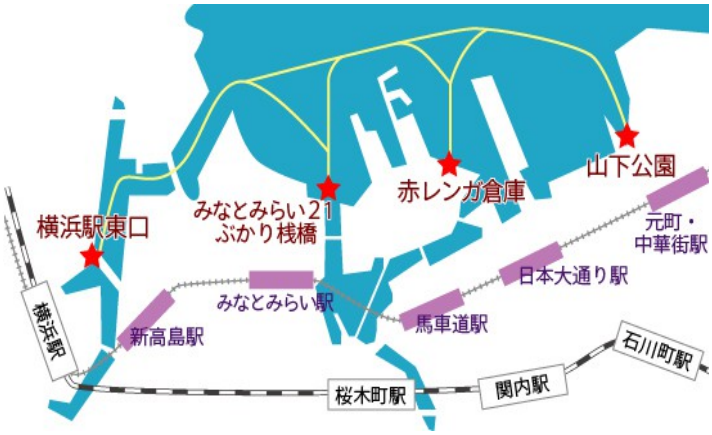
大佛 次郎（おさらぎ じろう、1897 年（明治 30 年）10 月 9 日 - 1973 年（昭和 48 年）4 月 30 日は、日本の小説家・作家。横浜市中区出身、本名は**野尻 清彦**（のじり きよひこ）。『鞍馬天狗』シリーズなど大衆文学の作者として有名な他、歴史小説、ノンフィクション、さらには新作歌舞伎や童話などまでを幅広く手がけた。記念館は、その没後、遺族から蔵書や遺品の寄贈を受けて、1978 年（昭和 53 年）5 月 1 日に開館した。

館内には大佛次郎が収集した文献や雑誌、愛用品などの資料が展示されています。

神奈川近代文学館（入館しません）

1984 年に開館。神奈川県が設立し、管理・運営は公益財団法人神奈川文学振興会が行っている。横浜市の「港の見える丘公園」内に所在する。 大衆文学、児童、詩歌などジャンルごとの大規模展示をはじめ、夏目漱石、芥川龍之介、泉鏡花から有島三兄弟、武者小路実篤、川端康成、太宰治、三島由紀夫、吉川英治、山本周五郎にいたる個人作家の展示など 100
回以上の企画展を開催し、さらに近年は講演会や講座、朗読会の開催を通じ、文学の普及活動に力を注いでいます。

港の見える丘公園　　フランス山公園の領事館跡



山下公園でシーバスに乗船（約20分）、ぷかり桟橋で下船したら、そこがランチ場所の「海鮮ビストロピア21」です。

横浜港に浮かぶヨコハマグランドコンチネンタルホテル直営のフローティングレストランでおいしい食事をゆっくりとお召し上がりください。